

科目名	国際文化演習 I B				
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照		
開講期	秋学期	開講学部等	文化学部	配当年次	3 年次
教員名	藤高 和輝			単位数	2 単位

授業概要／Course outline

私たちは、「男は男らしく」「女は女らしく」、「異性愛が自然で当たり前」といった見方が「常識」「当たり前」「普通」とされる社会を生きています。しかし、そのような見方は本当に「当たり前」のでしょうか。この演習では、そのようなジェンダー規範や異性愛規範を批判的に考える力を養うことを目標とします。「ジェンダー／セクシュアリティ」に関する基本的な文献を読み、議論を交わすことを通して、基本的な知識を学び、批判的思考力を身につけてもらいたいと思います。また、文献の発表、ZINEやレポートの作成を通して、プレゼンテーションの仕方やレポートの書き方などのアカデミック・スキルも学んでいきます。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

演習

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／プレゼンテーション）

第3回から第6回にかけて、各自の関心にもとづいた自由研究発表を行い、プレゼンテーション能力を育む。

第7回から第14回にかけては、授業で扱った文献についての発表、ディスカッションを行う。

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド動画による授業がある。

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回：夏季休暇成果報告会

第2回：ミニレクチャー

第3回：第3回から第6回にかけて、各自の関心にもとづいた自由研究発表を行います。卒業研究レポートに向けて、春学期や夏季休暇中に準備した研究成果を発表してもらいます。テーマは「ジェンダー／セクシュアリティ」に関するものであればなんでもかまいません。各回とも3～4名ずつ発表してもらい、受講者全員によるディスカッションを行います。教員からは、今後の卒業研究レポートに向けた指導を行います。

第4回：同上

第5回：同上

第6回：同上

第7回：第7回から第14回は再び文献の精読会になります。春学期と同様、「ジェンダー／セクシュアリティ」に関する基礎的な文献を精読、発表、ディスカッションしていきます。

第8回：同上

第9回：同上

★オンデマンド：これまでのまとめと今後の展望

第10回：同上

第11回：同上

第12回：同上

第13回：同上

第14回：自由研究発表をもとにしたレポートを提出してもらいます。学期全体の振り返りを行いながら、今後の研究計画に関する指導もしていきます。

事前・事後学修／Preparation and assignments

※事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要です。下記の内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うようにしてください。

【事前学習】

第1回 自由研究発表では、春学期や夏季休暇に学んだ研究成果を発表してもらいます。積極的に、関連する文献を読むようにしてください。どのような文献を読めばいいのか等、相談があれば随時受け付けます。

第2回 同上

第3回 同上

第4回 同上

第5回 同上

第6回 同上

第7回 読書会形式の演習になります。必ず、指定された文献を全員読んできてください。発表者はレジュメを作成してください。文献内容を分かりやすく要約するとともに、理解が難しかった点や自分が感じた疑問点、あるいはその文献に対する批判点など、自分の考えを書き出すことも重要です。

第8回 同上

第9回 同上

★オンデマンド 同上

第10回 同上

第11回 同上

第12回 同上

第13回 同上

第14回 までに提出するレポートでは、これまでの学習や自由研究発表の成果をまとめ、発展させるとともに、「今後どのような研究をすべきか」という課題点も書き出すことも心がけてください。「発表・提出して終わり」ではなく、今後の研究を視野に入れながら発表やレポートを作成することを心がけてください。

【事後学習】

第1回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第2回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第3回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第4回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第5回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第6回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第7回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第8回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第9回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

★オンデマンド ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第10回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第11回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第12回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第13回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

第14回 ゼミの内容をまとめたり、紹介された文献などを調べてみてください。

授業の到達目標/Expected outcome

現代社会におけるジェンダーやセクシュアリティをめぐる問題について、自分なりに考え、自分の意見を発信できる力を身につけることが、この授業の到達目標です。また、レジュメやプレゼンテーション、レポートの作成を通して、基本的なアカデミック・スキルを習得することもこの授業の目標です。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|------|---------------|
| ・主体性 | 専門知識・専門技能 |
| ・発信力 | 【文化学部 国際文化学科】 |
| | ・人文学に関する知識 |
| | ・地域文化に関する知識 |

履修上の注意/Special notes, cautions

演習では参加度や積極性が大きく評価されますので、欠席には注意してください。

評価方法/Evaluation

平常点（口頭発表の内容、ディスカッションへの参加状況）70%、学期末に提出するレポートを30%とします。

教材/Text and materials

教科書は用いません。使用するテキストはプリントして配布します。

質問や相談の方法/Instructor contact

藤高（kazukin@cc.kyoto-su.ac.jp）までご連絡ください。

その他/Others

個別の相談は随時受け付けます。